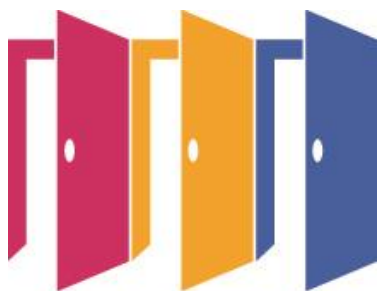


沼津柿田川ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク
 RI第2620地区ガバナー 萩原 英生
 会長 梅田 欣一
 幹事 川口 尚史
 例会日時 毎週水曜日 点鐘12:30
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 事務局 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

会長挨拶



第1765回例会 会長挨拶

会長 梅田欣一

皆さま、こんにちは。

さて、現在、九州や、岐阜県、長野県では、大雨で大変な状況になっているようです。私は、いつも三園橋を渡って通勤しておりますが、7月6日月曜日の朝も、狩野川の水位が結構高かったです。でも、今年の台風19号の時ほどではありませんでした。ただ、今後も大雨によって大変な状況になるかもしれませんので、皆さまも、十分にお気を付けください。

ところで、既に読まれている方も多いとは思いますが、ロータリーの友5月6月号の30ページから41ページにわたって、海洋プラスチック問題が特集されておりますので、紹介致します。

マイクロプラスチックの問題は、深刻な問題です。ウミガメの鼻にプラスチックのストローが刺さっている写真は、衝撃的だったと思います。

本年7月1日からは、スーパーマーケットでも、コンビニエンスストアでも、レジ袋が有料化されました。

SDGsにおける14番目の目標でも、「LIFE BELOW WATER」(海の豊かさを守ろう)ということで謳われております。

ロータリーの友では、小田原城北RCから「みんなでプラスチックごみ・ゼロ運動」ということで、寄稿されております。また、浜松RCから、「4クラブ協同、地域でウミガメの産卵地をきれいに」ということで、寄稿されております。

まだ読まれていない方は、是非、読んでおいてください。

本日の会長挨拶は以上です。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

- *ガバナー事務局より
地区幹事交代のお知らせとご挨拶 到着
ロータリー全国囲碁大会のご案内 到着
ガバナー月信7月号 到着
- *ロータリーの友事務局より
ロータリーの友7月号 到着

■ 例会変更 ■

- *沼津北ロータリークラブ
7月21日(火)→祝日週休会
- *富士山吉原ロータリークラブ
7月23日(木)→休会

■ 週報到着 ■

ありません。

本日のゲスト・ビジター

ゲスト・ビジターはありませんでした。

スマイル報告

ありませんでした。

各委員長就任挨拶

会員増強退会防止委員会 委員長 濱田清明

我がクラブを継続維持、運営する上で会員増強は最重要課題です。増強無くしてクラブの発展は望めません。

今年度は沼津柿田川ロータリークラブの活動方針をはじめ近年の柿田川での主な活動や会員同士の情報交換、親睦や「奉仕」から生まれる友情、そしてエンドポリオ撲滅街頭募金等の冊子を作成し、会員勧誘に役立てます。

今年目標を純増5名とし、達成を目指したいと思います。引き続き頑張っていきます。

クラブ管理運営委員会 委員長 安本晋

例会の運営について

SAAを中心として、会場設営、受付、ソングリーダー、報告などを行い、滞りなく例会が実施できるよう努めます。

クラブ協議会の実施については、可能な限り会員全員から関連な意見が交わされるような運営や雰囲気づくりに努めたい。

外部卓話の実施がされる際には全員参加となるよう会員に呼びかけを行い、講演内容を全員が共有できるようにしたい。

出席について

全員参加の例会ができるよう、会長幹事と協力して、出席、メーキャップを促す。メーキャップの期間がより柔軟となったので、できるだけメーキャップを行ってもらうよう、事務局からも例会変更等の情報を共有してもらう。

ZOOMを利用した遠隔参加については、出席を原則としつつ、欠席に代替するものとして活用していきたいが、活用する方法については会員との間で認識を共通にしたいうえて、進めていきたい。

親睦について

コロナ禍に対する対策を十分に検討したうえて、可能な限り親睦のための例会を実施したい。特に、会員を超えた合同例会や家族の参加については、今後の状況を見極めながらではあるが、親睦に滞りがないように実施したい。

例会プログラムについて

梅田会長の方針に従い、年間計画通りに実施していきたいが、恒例行事のうち開催が未定のものもあるため、柔軟により良いものになるよう対応しながら、会員への周知も滞りなく行っていきたい。

ロータリー財団委員会 委員長 菊地勝男

- ・会員目標寄付額を達成する
- ・ポリオ根絶街頭キャンペーンの実施
- ・地区補助金の有効活用
- ・ロータリーカードの全員普及の努力
- ・マルチポールハリス資格者の推奨

クラブ研修リーダー委員会 委員長 前田守

RLIとは(Rotary Leadership Institute)ロータリー・リーダーシップ研究会のことです。

ロータリー・リーダーシップ研究会は質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。

RLIの使命は、将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア(奉仕)を進める組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的です。

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動するためには、ロータリアン一人一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。

RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することだと提唱しています。

昨年実施された内容を基に、今年度の研修内容が打ち出されると思います。

一年間、宜しくお願い致します。

奉仕プロジェクト委員会 委員長 齋藤悦生

①少ない会員数で大きな成果をあげる。

当クラブの会員数には限りがありますので、以前からの行事遂行にあたり、当クラブが中心となったプランニングを立案し効率の良い体制作りを目指したく考えます。

②そのプランに沿って、他クラブや米山奨学生等に気持ちよく協力してもらえようように心がけてプロジェクトを進めてまいります。

クラブ広報委員会 委員長 齋藤悦生

①事業などの内容をフェイスブック等を活用し、関心のある方々の目に触れるようにします。

②事業などの内容を紙媒体に起こし、一般の方々の目にも触れるように「ふれあい広場」やその他行事において配布が出来るように考えております。

◆次回例会プログラム◆ 前会長幹事慰労夜間例会

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席数	出席率	前々回6月10日修正出席率
8名	8名	6名	75.00%	75.00%

出席： 菊地・梅田・濱田・川口・安本・齋藤 計6名

欠席： 前田・岩邊 計2名

MU: 計0名